

特定非営利活動法人 日本放射線腫瘍学研究機構

2007年度第1回理事会議事録

1. 開催日時 平成19年7月30日(日) 10:00~12:00

2. 開催場所 国立がんセンター中央病院 第一会議室

3. 理事総数 16名

4. 出席者数 14名

5. 出席者氏名

三橋紀夫理事長、西村恭昌理事、早川和重理事、秋元哲夫理事、小口正彦理事、加賀美芳和理事、田中良明理事、中野隆史理事、早瀬尚文理事、晴山雅人理事、池田恢理事、不破信和理事

6. 欠席者氏名(委任状提出済)

辻井博彦理事、平岡真寛理事、山下孝理事、山田章吾理事

7. 審議事項

(1)第一号議案 議長の選任

(2)第二号議案 第3回理事会議事録案の承認について

(3)第三号議案 会員について

(4)第四号議案 平成18年度会計報告について

(5)第五号議案 寄附ならびに賛助会員について

(6)第六号議案 各委員会報告について

(7)第七号議案 平成19年度事業計画について

(8)第八号議案 平成19年度予算について

(9)第九号議案 その他

7. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1)第一号議案 議長の選任

議長に三橋紀夫氏が満場一致で選出された。

(2)第二号議案 第3回理事会議事録の確認について

第3回理事会議事録が確認された。理事氏名は姓名表記することとなった。議事録署名人(西村恭昌理事および平岡真寛理事)の署名・捺印をもって正式な議事録とし事務局にて保管することとされた。

(3)第三号議案 会員について

議長より、7/29現在の総会員数は224名、登録施設件数は71件であることが報告された。第3回理事会以降、4名の新入会員数の申込があり、個人会員として承認された。会員数、登録施設数増加のために、NPO化前の施設会員に入会および施設登録を再度依頼すること、放射線治療関連医や人脈をたどり、積極的に入会を勧めることが可決された。

(4)第四号議案 平成18年度会計報告について

平成18年度(2006年度)会計報告および酒井邦夫監事、森田皓三監事による監査報告書が確認され、理事により承認された。

(5)第五号議案 寄附ならびに賛助会員について

7/29現在、寄附企業計14社、個人寄附計1件、賛助会員計13社の申込があった。第3回理事会以降の新規賛助会員の入会、新規寄附はないが、賛助会員として2社が入会予定である旨、議長より報告があった。

治療機器など治療関連機器を製造販売している企業などに各理事より積極的に声をかけ、入会を促進するよう議長より依頼があった。

(6)第六号議案 各委員会報告について

1)運営委員会

運営委員会の活動について運営委員会委員長である秋元哲夫理事より報告があった。平成19年4月15日および6月22日に第1回、第2回運営委員会を開催したとの報告があり、それぞれの議事について議事録に基づき説明がなされた。以下が提案事項。今後の懸案事項とされた。

①総会・研究会の開催時期の見直しおよび部位別専門委員会の開催時間の延長。

②会費、寄附金収入の運用ルールを設定し、財政基盤を強化する。

部位別専門委員会の細則の見直しに関して、秋元理事より提案があった。出席理事は以下の変更項目を承認した。

①委員の任期は設けない。

②原則として、複数の部位別専門委員会の委員となることはできない。

③必要に応じて複数のプロトコール作成チームに所属できる。

④委員会を開催した際には議事録を作成し、事務局に報告し必要に応じて公開する。(形式は問わない。メール、メモでも可とする)。

追加事項として、以下の内容を追記することとされた。

⑤委員長または副委員長は理事とする。

2)教育広報委員会

教育広報委員会委員長である山下孝理事が欠席のため、議長より教育広報委員会の活動について報告があった。ホームページを活用して会員への情報提供、広報活動を徹底し、会員増加に繋げることとされた。また、第1回教育広報委員会議事録の確認を山下委員長に早急に行ってもらおうよう指示された。

3)効果・安全性評価委員会

効果安全性評価委員会委員長である加賀美芳和理事より、効果・安全性評価委員会細則の変更について提案があった。出席理事は以下の変更項目を承認した。

①効果・安全性評価委員(20名以下)はJROSGが承認した臨床試験の効果および安全性を評価する。

②効果・安全性評価委員会は必要に応じて各臨床試験の審議および審議報告書の作成、勧告を行う。

また、追加事項として、効果・安全性評価委員が以下のいずれかの立場で臨床試験に関わっている場合は、その臨床試験に関しては効果・安全性評価委員を外れることとされた。

①研究代表者・研究事務局・研究責任者

②共同研究者

③参加施設代表者

加賀美委員長より早急に各委員に継続意思確認を行う旨、報告があった。

4)臨床試験審査委員会

臨床試験審査委員会委員長である西村恭昌理事より臨床試験審査委員会の活動状況の報告があった。2006-2007年に申請された1件のプロトコールドラフトおよびフルプロトコールの審議結果が報告された。また、臨床試験審査委員会委員構成が確認され、理事により承認された。

5)施設選定委員会

施設選定委員会委員長である早淵尚文理事より、施設選定委員会の新規委員構成が提案された。委員会活動の活性化のために行動力のある若手委員4名を新規推薦する旨報告があり、新規委員4名は理事により承認された。また、現在副委員長である早川和重理事が新委員長となることが早淵理事より提案され、満場一致で可決された。

(7)第七号議案 平成19年度事業計画について

議長より平成19年度事業計画書案が提案され、満場一致で可決された。

(8)第八号議案 平成19年度予算書について

議長より平成19年度特定非営利活動に係る事業およびその他事業の会計予算書が提案され、満場一致で可決された。運営委員会、教育広報委員会、各部位別委員会開催にあたり、必要であれば交通費を支給する予定であるとの報告があった。寄附金収入を見込んでいるため、関連企業への積極的な働きかけが提案された。臨床試験の実績が少ないため、今後いかにして寄附金収入を確保するかは大きな課題である。

(9)第九号議案 その他

1)市民公開講座協賛について

「関西 Cancer Therapist の会」の協賛に関し、満場一致で可決された。10万円の補助金提供についても可決された。「関西 Cancer Therapist の会」には JROSG の広告を依頼する。

2)出版事業について

池田飯理事より放射線治療に関する書籍出版に関して提案があった。出版にあたり NPO JROSG として編集を行うことが提案され、承認された。部位別委員会の集積データを活用することで「得られた成果を広く社会一般に周知せしめる」という目的の達成に繋げる。詳細は、教育・広報委員会で検討することとされた。

3)JASTRO よりのデータ集約の受託(案)

晴山雅人理事より来年開催される JASTRO 学術大会に際し、JROSG としてデータ集約を受託してはどうかとの提案があった。各部位別委員会等から提出された臨床試験結果を集約し、データベースを作成し公表する。データ公表に際しては個人情報保護などの観点から十分注意する必要があるとの意見も出された。受託形態(業務委託にするのか、寄附にするのか)については、諸処の条件を鑑み、検討することとされた。

4)総会・理事会以外の各種委員会の議事録には議長、議事録署名人の署名・捺印は不要とすることが満場一致で可決された。

8. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より次の者を議事録署名人とするとの提案があり、全員異議なくこれを承認した。

議事録署名人・中野 隆史

議事録署名人・早川 和重

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成19年7月29日

議長
議事録署名人
議事録署名人

三橋 紀夫
中野 隆史
早川 和重



以上